



三立応用化工株式会社

安定した品質と水や資源・エネルギーの効率的な利用と廃棄物の削減を実現



伊勢崎市

住所 伊勢崎市香林町2-1284-33
TEL 0270-62-5545
Mail gen@mitachi-eng.co.jp
URL http://www.mitachi-eng.co.jp/
代表者 佐羽 宏之
設立 1961年9月13日
資本金 5,000万円
従業員 30人

WEBサイト



企業紹介

新しい材料として注目されていたプラスチックを使った応用製品の開発と製造を目指して1961年に設立された会社です。社名の三立(みたち)は、「電機」・「自動車」・「その他」の産業にバランスよく立脚してゆく三脚をイメージして名付けられています。以来、中空成形、射出成型、真空注型技術を使って、様々なプラスチック製品を作ってきました。現在は、真空注型技術を柱として、電氣的絶縁性能、熱伝導の向上などを通じて、大型モータ、半導体製造装置、重電部品など製品の性能向上に寄与する加工に取り組んでいます。

経緯・背景

当社は、2000年にISO9001認証、2006年にはエコアクション21の認証を取得しました。環境に最もやさしいものづくりは、不良品をつくる無駄を除いた製造を確立することであると気づき、ISO9001とエコアクション21の認証を維持する活動を一元化して取り組んできました。その成果として、安定した品質と水や資源・エネルギーの効率的な利用と廃棄物の削減を実現した活動を続けていくことができました。2021年には、SDGs達成に向けた宣言を行い現在に至っています。

プラスチック加工業の経験を生かしつつ、新たな材料にも果敢に挑戦

具体的な取組・成果

- ① 製品製造にあたっての品質維持、環境への配慮の実施
当社の製品は、その製造に当たり「品質は作りこむもの」という考えに基づき、ISO9001品質認証制度に基づいた品質文書の整備並びに環境に配慮した材料選択やエネルギー、水の使用、廃棄物管理のうえで製造されています。
- ② 環境に配慮した製品の開発と製造
当社は、お客様からの開発要望に応えつつ、省エネルギーや環境負荷の低減に資する製品開発に取り組んでいます。



「真空注型製品」

- ③ 価値観の転換による幸福度向上に資する製品開発
「より速く、より多く、より楽に」というこれまでの価値観から脱却して、幸福感を落とさずにSDGsを本当に実現するための製品を提案していきます。桐生工場では、里山の再利用と組み合わせ、防災にも役立つエコストーブ、生ごみの削減に役立つ生ごみ処理機などのほか、庭での新しい楽しみを提案する乗って遊べる鉄道模型をキットで提供しています。また、地域イベントなどで大型鉄道模型を走らせて子どもたちを楽しませる事業も実施しています。



当社製品のミニトレイン

④ インキュベーション工場事業

桐生工場では、基本的な工作機械を完備した機械工場を中心に、当社と一緒に施設を利用して新しい事業に取り組むインキュベーション工場事業を行っています。また、地元の群馬大学の研究に利用できるステージの提供も実施中です。



ナローモビリティと充電用のソーラー発電

当社にとってのSDGsビジョン

一人当たり地球2.76個分の資源を使っているといわれる日本人ですが、科学技術の進歩を生かして、幸福感を落とさずにSDGsを達成することは可能ではないかと考えます。そのためには、もう一度今のやり方を見直したものが重要です。当社の活動がそれに少しでも役立てば、存在価値もあるのではないのでしょうか。

今後の展望と求めるパートナー像

環境負荷が大きいといわれるプラスチックですが、現代生活には不可欠な材料でもあります。これまでのプラスチック加工業の経験を生かしつつ、新たな材料にも果敢に挑戦しながらお客様の要望に応える製品づくりと、SDGsの実現に資する当社ならではの提案をしていきたいと考えています。